

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		120104		2998-9171				
事業コード	防犯灯補助事業			担当部課	建設総務課			
120104	開始年度 昭和53 年度 終了年度 年度			グループ	総務			
事業の概要	事業の種類別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令			
	分野別計画・指針	マチごとエコタウン所沢構想			所沢市防犯灯補助要綱			
	関連・類似事業	道路照明灯維持管理業務						
	総合計画の体系	章 街づくり	節 道路	基本方針	道路環境の整備			
事業開始の背景	防犯灯の設置、維持管理については、従来、全額自治会等の負担であったが、昭和52年度に見直しを行い、所沢市照明灯設置基準と所沢市防犯灯補助要綱を制定し、昭和53年度から、自治会等の負担で設置、維持管理する防犯灯に対して、市から補助を行うこととした。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	夜間における道路上での犯罪被害の防止を図る目的で、自治会等が設置、維持管理する防犯灯に対し、新設費(交換を含む)及び維持管理費の補助を行うことで、防犯灯の設置が促され、防犯効果の増大が図られるとともに、安全な都市空間を実現することになる。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	平成 27 年度			
自治会等が設置、維持管理する防犯灯			12,894	13,827				
			灯	灯				
事業の具体的な内容及び実施方法	<p>1 新設費補助金 自治会等からの申請書受理、申請内容の審査及び現地確認、交付決定の決裁及び交付決定通知書の送付、設置工事、事業完了実績報告書の受理及び審査、確定通知の決裁及び確定通知書の送付、請求書の受理及び審査、補助金の交付</p> <p>2 維持管理費補助金 自治会等からの申請書及び請求書の受理、申請内容の審査、交付決定の決裁及び交付決定通知書の送付、補助金の交付</p>							
経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額		44,000	72,357	90,774			
	決算(見込み含む)		43,977	71,496				
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)			
	正規職員人件費	1.00 人	8,721	0.80 人	6,928			
	事業費合計		52,698	78,424				
	財源内訳	一般財源	52,698	58,424	44,000			
	国・県支出金	0	0	0				
	その他(マチごとエコタウン推進基金)	0	20,000	46,774				
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	新設費補助金	補助額	千円	12,652	39,903	58,524	
		補助灯数	千円	364	1,190	1,800		
	維持管理費補助金	補助額	千円	31,325	31,593	32,250		
補助灯数		千円	12,530	12,637	12,900			
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	補助金交付額	目標値	千円	44,000	71,496	90,774	
			実績	千円	43,977	71,496		
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	100	100		どちらかをチェックしてください	
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	従来までの新設費補助金と、「マチごとエコタウン推進基金」を活用して2,000万円を上乗せして、防犯灯のLED化の促進を図った。							
評価	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	市民の犯罪被害の防止を図る必要があることから、引き続き、現行の方法で補助金の交付を行う。			
		次年度予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	自治会・町内会等が管理する防犯灯は、まだその多くが蛍光灯であり、消費電力の削減や発電に伴うCO2の排出など環境負荷を抑制する観点では、早期にLED照明灯の導入促進の要望がある。			
備	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	防犯灯補助金については、各自治会等からのLED化の要望が多く、今年度は昨年度に引き続き、マチごとエコタウン推進基金を4,000万円に増額して、LED化の促進を図っている。補助金は、各自治会等の所有灯数の15%を上限(最低5灯)として交付している。			自治会等の防犯灯LED化への要望が多いことから、平成29年度についてもマチごとエコタウン推進基金4,000万円の活用を予定している。LED化率50%に到達した時点で、補助制度の見直しも視野に入れながら、LED化率100%を目指して事業の充実に努めていく。				
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	建設総務課長 池田 康徳					
環境影響	有益な環境影響	1-1 地球温暖化対策の推進	5-2 安心な都市空間の整備	有害な環境影響を及ぼす原因活動	公用自動車の使用 文書の作成	規制を受ける環境法令等	無	
						緊急事態	無	